

河北潟湖沼研究所の活動は、皆様のご支援で成り立っています。  
一緒に活動して下さる方、応援して下さる方を待っています。

### 会員になる

当研究所では随時会員を募集しています。入会ご希望の方は下記連絡先までお問い合わせください。

- 一般会員 年会費 個人12,000円、法人24,000円  
研究所の活動目的に賛同いただける方はどなたでも会員になることができます。一般会員は研究所の活動、運営にかかわることができます。活動案内や通信、刊行物等が届きます。
- 友の会会員 年会費 2,000円  
友の会は、どなたでも気軽に参加できる枠組みです。会員には活動案内や通信、刊行物等が届きます。

### 寄付をする

郵便振替、銀行振込、クレジットカード等でご寄付いただけます。

- 郵便振替  
ゆうちょ銀行(振替口座) 00730-1-48345  
加入者名 特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所  
\*通信欄に寄付金とご記入ください。\*ご住所とお名前を必ずご記入ください。
- 銀行振込  
楽天銀行 第一営業支店 普通 093010  
口座名義:トクヒ)カホクガタコショウケンキウジョ
- クレジットカード  
下記URLより決済ページにおすすみください。  
<http://kahokugata.sakura.ne.jp/donation.shtml>

クレジットカード  
でのご寄付はこちら



### 購入する

生きもの元気米やすずめ野菜等を下記ショップよりご購入いただけます。

- 河北潟湖沼研究所のお米屋さん(生きもの元気米・七豊米等)  
<http://kahokugata.cart.fc2.com/>
- すずめ野菜  
<http://suzumeyasai.cart.fc2.com/>

お米屋さん



すずめ野菜



### 観察会や調査をする

河北潟地域での自然観察会や体験イベントの実施、地域の自然環境に関する調査研究等を承っています。  
まずはメールやFAX、お電話でお問い合わせください。

NPO法人河北潟湖沼研究所(かほくがたこしょうけんきゅうじょ)  
〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9  
電話076-288-5803 fax076-255-6941  
E-Mail [info@kahokugata.sakura.ne.jp](mailto:info@kahokugata.sakura.ne.jp)  
URL <http://kahokugata.sakura.ne.jp>

- Instagram・・・[kahokugata\\_lake\\_institute](#)
- twitter・・・[@kahokugatalake](#)
- facebook・・・[kahokugatalake](#)



## 2017年度事業報告書 河北潟湖沼研究所

## ANNUAL REPORT 2017 Kahokugata Lake Institute

特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所



|                      |    |
|----------------------|----|
| ＜目次＞                 |    |
| ごあいさつ                | 2  |
| 河北潟湖沼研究所の新しいビジョン     | 3  |
| ビジョンプロジェクト始動         | 4  |
| 調査・研究                | 5  |
| 生きもの元気米              | 6  |
| 七豊米                  | 7  |
| すずめ野菜                |    |
| 金沢駅西ゆうぐれ金曜マルシェ       | 8  |
| 河北潟セミナー、シンポジウム       |    |
| 地域や他団体との連携、協議会推進・運営等 | 9  |
| 助成金・寄付金等             | 10 |
| 受託事業、地域連携事業          |    |
| 2017年度決算報告           | 11 |

## ごあいさつ

私たちは1994年の設立以来、一貫して河北潟と周辺地域の環境保全と地域振興を目指した取り組みを続けてきました。特に、研究と実践を結びつけることを重視し、持続可能な地域づくりに寄与できているかどうかを組織の成果の指標としてきました。

そうした視点から、現在の中心的事業として「生きもの元気米」を進めています。4年間の取り組みを通じて、圃場面積は徐々に拡大しています。農法と野生生物との関係についての研究を進め、その成果を地域農業の持続的な展開に繋げるソーシャルビジネスとして発展しつつあります。

しかしながら、河北潟と流域の生態系サービスが大きく劣化し、さらにその多くを失いつつある自然環境の現状は、まだ変化の兆しが見えていません。そこで私たちは「流域の森や農地に支えられた汽水生態系の復活により、河北潟から豊かさを持続的に享受できる地域を目指します」という地域ビジョンを提案し、潟と流域の恵みを根本から取り戻すことを目指すこととしました。

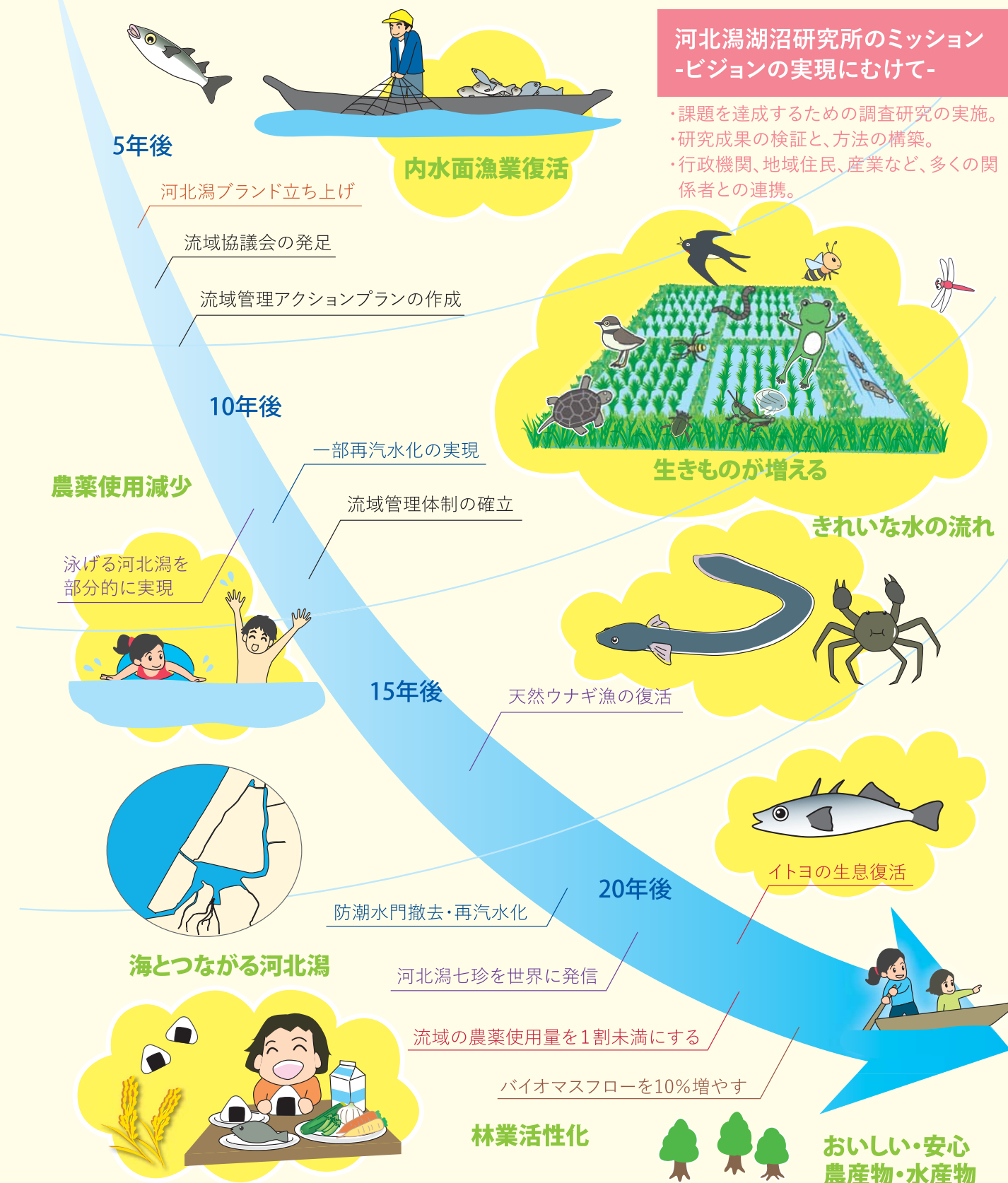
どうか、私たちのこの取り組みにご賛同いただき、参加とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

河北潟湖沼研究所理事長 高橋 久

# とりもどそう 河北潟 泳げる湖、おいしい魚、安心して使える水

## 流域の森や農地に支えられた汽水生態系の復活により、河北潟から豊かさを持続的に享受できる地域を目指します。

流域全体が無農薬となり、ヤマトシジミ、ウナギなどが生息する河北潟が復活し、潟漁が営まれて食卓も豊かになります。水草が増えて水も透明になり、清湖のきれいな水と自然が取り戻された流域にはいろいろな地場産業が発展しています。「河北潟」は地域に活力を与え続けます。





# ビジョンプロジェクト始動

## 河北潟の自然再生につながる研究を進めています。

2017年、河北潟湖沼研究所は新しいビジョンを採択しました。そして2018年1月5日、ビジョンを具体化するためのキックオフミーティングを開催、それぞれの専門家を中心に2つの研究プロジェクトを立ち上げました。

### 汽水化

ひとつは、河北潟の再汽水化に係る研究プロジェクトです。河北潟の生態系の再生には、河北潟に海の水と川の水が混ざった汽水域を再び作ることが欠かせないと考えています。鳥取県の湖山池や島根県の中海の事例からは、海水の再導入に慎重を要することが示唆され、まずは計算によるシミュレーションにより海水の導入による変化を予測することとしました。また、どの程度の塩分濃度が妥当なのかを検討する上で、汽水湖であった頃の生態系について情報を収集することとしました。

### 統合的流域管理

ふたつめは統合的流域管理に関する研究プロジェクトです。流域の水の現状や流れの把握を行い、流域からの水質改善のための課題の整理を進めることとしました。河北潟の再生には、流域から流れ込む水質を改善すること、治水や水質管理に関する新しい仕組みを作ることが求められます。資金援助、連携体制づくり、ビジョン実現に向けてのご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 調査・研究

## 河北潟総合研究 20巻 発行

2017年9月、機関誌「河北潟総合研究」20巻を発行しました。「河北潟総合研究」は、河北潟や河北潟地域の自然、環境、生活、文化、歴史等に関する研究成果の発表の場として、また、地域環境保全・地域振興に関する学際的・総合的な研究交流の場として機能することをめざしています。



＜河北潟総合研究 20巻 目次＞

原著

内灘砂丘上の耕作地分布と施肥量の推定  
永坂正夫・高野典礼・福原晴夫・高橋 久

情報・報告

河北潟鳥類リスト追加記録種の報告

川原奈苗・高橋 久・中川富男・丹羽 量・丹羽千枝子

石川県河北潟で捕獲されたカミツキガメ

野田英樹・大井 毅

石川県金沢市牧山町における環境調査とエコツーリズム

橋田由美子・橋田省三・田崎和江・中村市朗・高橋 久・中村圭一

資料

1963年から2017年5月までに河北潟で確認された鳥類の一覧  
川原奈苗・中川富男

## 河北潟研究奨励助成

河北潟に関する基礎的学術資料の蓄積を図り地域の持続的な社会のあり方を検討すると共に、地域の研究ネットワークを広げる取り組みとして、専門的知識を持った研究者や学生、持続的社会的実現を目指し活動을続けてこられた方々の研究を奨励し助成を行っています。2016年、2017年は「gooddo」による支援金および賛同者からの寄付を原資に助成を行いました。

### 2016年度河北潟研究奨励助成 報告

申請者 野田 英樹 さん(所属:いしかわ動物園)  
助成金額 100,000円  
研究課題 河北潟西部承水路と東部承水路に生息する淡水カメの長期的研究

申請者 畑山 智史 さん  
(所属:埼玉大学大学院文化科学研究科)  
助成金額 100,000円  
研究課題 酸素同位体比を用いた過去5000年にわたる海水温度の変化

### 2017年度河北潟研究奨励助成 決定

申請者 香川 理 さん  
(所属:東北大学大学院生命科学研究科保全生物学講座)  
助成金額 100,000円  
研究課題 新たな生息地への進出による生物の応答;淡水巻貝ヒメタニシを用いて

申請者 山下雄太郎 さん(所属:石川工業高等専門学校)  
助成金額 48,900円  
研究課題 河北潟干拓地中央幹線排水路におけるリンの挙動解明のための試験的モニタリング

申請者 川原 奈苗さん(所属:NPO法人河北潟湖沼研究所)  
助成金額 20,000円  
研究課題 干拓地農業排水路における沈水植物の生育可能性

## 調査・研究の実施

### ● 河北潟流域調査

森下川上流から河北潟まで、水質、土質等を調査。

### ● 河北潟干拓地外来植物調査

干拓地における外来植物分布を調査。



河北潟総合研究はウェブで公開しています。冊子は一部1,000円で販売もしております。購入ご希望の方は河北潟湖沼研究所までお問い合わせください。



河北潟総合研究

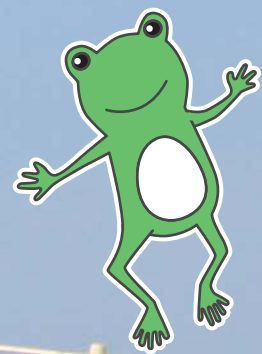


# 生きものの元気米

河北潟のまわりには田んぼが広がっています。田んぼというと生きものがたくさんいる自然豊かなところというイメージを持たれる方も多いかと思います。しかし、現在の田んぼは少し様子が違います。昔と比べると、生きものの種類も数も大幅に減少しています。大きな原因は、殺虫剤の一斉空中散布と、生きもののすみかとなる畦の草をすべて枯らしてしまう畦の除草剤散布だと私たちは考えています。

生きものの元気米は、田んぼの様子を確認しながら、必要性の低い農薬をなるべく使わない農業を広げてゆき、お米を作る人、田んぼの環境、田んぼの生きもの、お米を食べる人、みんなが元気になることを目指した取り組みです。

生きものの元気米では、①農薬の空中散布をしない＋浸透性殺虫剤(ネオニコ含む)を使用しない、②畦の除草剤を使わない、という2つの条件で農家と契約し、栽培圃場では河北潟湖沼研究所が生きもの調査を実施し、田んぼ一枚ごとに生きものの元気米認証をしています。環境保全型の農業を実践し、田んぼの生きものが減っている大きな原因を取り除き、農地の生物多様性を保全するとともに、消費者に対し農地の環境保全への意識を高め、安心して食べられる農産物を届ける活動です。2014年から始めたこの取り組みは、2017年は新たに2枚の田んぼが増え、計9枚で生きものの元気米が栽培され、約6トンで販売し、約170万円を売り上げました。また1枚の圃場ではレンコンが栽培され、生きものの元気レンコンとして販売しています。2018年にはさらに「生きものの元気米」圃場を広げ、田んぼの生物多様性保全に向けた取り組みを広げてゆきます。



## 生きものの元気米圃場の面積



## 圃場の数



\*1枚はレンコン田です。



トノサマガエル



ヒメミズワラビ



チュウサギ

生きものの元気米  
情報はこちら



# 七豊米

七豊米は2012年より開始し、2017年で6年目をむかえました。ボランティアの方々と共に農薬・化学肥料を使わずに、協働作業でお米を栽培しています。そして活動している田んぼの脇には土水路があります。この土の水路は様々な生きものの居場所となっています。田んぼと共に土水路の保全もめざし、生きものの元気米に先駆けて開始した取り組みです。七豊米は2枚の田んぼ(約1400m<sup>2</sup>)で栽培し、ここで収穫したお米、また活動そのものを「七豊米」と呼んでいます。収穫したお米は、参加者に配分するとともに、販売しています。

日々の農作業はスタッフとボランティアの方々とで行っています。また主に親子を対象とした体験イベントも実施しています。2017年は5/21に田植え、7/22に観察会、9/24に稲刈りイベントを実施しました。農地に足を踏み入れてもらい、体感してもらう、人と農地、水辺をつなぐ窓口です。2017年度はのべ116人で作業し、約320kgの七豊米を収穫しました。



のべ  
116人  
での協働作業



# すずめ野菜

河北潟のとなりにある内灘砂丘地の畑で、チクゴスズメノヒエ堆肥を利用して、農薬を使わずに野菜を栽培しています。河北潟の栄養を取り込んで繁茂した外来植物・チクゴスズメノヒエを除去し、堆肥化して有効利用しています。これにより、河北潟と内灘砂丘で循環を作り、地域の環境問題が改善すること目指しています。2017年度には約65種類の野菜を栽培、ゆうぐれ金曜マルシェでの直接販売等を通じて、河北潟地域の農産物として、環境保全活動と共にPRをおこなっています。



少量多品種  
65種  
の野菜を栽培

砂丘地の畑で、河北潟の水辺で繁茂する  
外来植物・チクゴスズメノヒエを原料とした堆肥を有効活用



# 金沢駅西ゆうぐれ金曜マルシェ

金沢駅西イベント広場で「農家が届けるおいしい週末」をコンセプトに、冬季を除いた毎週金曜夕方、河北潟周辺や干拓地で栽培された農産物を金沢駅周辺住民に直接届け、同時に河北潟の自然や環境保全活動についてもPRをしています。2017年は35回開催、都市部住民の方と直接対話できる貴重な場となりました。



ゆうぐれ金曜マルシェ  
最新情報はこちら



# 河北潟セミナー、シンポジウム

環境問題や農業の在り方、河北潟流域等をテーマに外部から講師を招き、セミナー、シンポジウムを実施しました。計96名の方にご参加いただきました。

6月3日 「カイエビと仲間たちを通して河北潟の環境を調査しよう」  
講師：長縄秀俊さん(京都大学大学院院理学研究科動物学研究室)

9月25日 「河北潟における人類と動物の関わりー動物考古学における知見」  
講師：畑山智史さん(文京区教育委員会)

2月19日 「住民参加による流域の水資源管理について」  
講師：田島正廣さん

3月23日 「生態系に根ざした食と農へ」  
講師：関根彩子さん(グリーンピース・ジャパン)

3月5日 「とりもどそう河北潟 泳げる湖、おいしい魚、安心して使える水ー地域連携でつくる豊かな流域ー」  
講師：石川貴洋さん(環境の杜こうち)  
事例発表：橋田由美子さん(農事組合法人まっきゃま)、大野昭雄さん(夕日寺自然体験実行委員会)、宇都宮千佳さん(女川に菜の花油の灯をともしよう)、澤邊友彦さん(ハーブ農園ベザン)、磯貝幸博さん



石川貴洋さん



長縄秀俊さん



畑山智史さん



田島正廣さん



関根彩子さん



橋田由美子さん



大野昭雄さん(左)



宇都宮千佳さん



澤邊友彦さん



磯貝幸博さん

# 地域や他団体との連携、協議会推進・運営等

河北潟に関する協議会、イベント実行委員会等に参加し、事務局運営等の役割を担っています。

## 河北潟自然再生まつり

主催：河北潟自然再生まつり実行委員会  
共催：NPO法人河北潟湖沼研究所

河北潟地域で環境保全活動を行っているさまざまな団体が集まり、活動をPRするとともに来場者は色々な体験を通じて河北潟の自然を楽しむことができます。2010年から始まり、2017年は10月15日(日)に実施、約300名が参加しました。河北潟湖沼研究所は準備段階から中心としてかわり、当日はヨシ舟乗船体験や葦簀づくり等、4つのプログラムを実施しました。



## 第23回河北潟クリーン作戦

主催：河北潟クリーン作戦実行委員会  
事務局：NPO法人河北潟湖沼研究所

河北潟クリーン作戦は毎年4月に実施している河北潟の一斉清掃活動です。2017年は4月16日(日)に実施し、744名が参加しました。7地点で合計2.4トンのゴミが水辺から取り除かれました。

河北潟湖沼研究所は運営事務局として、実行委員会の開催、関係機関との調整や連絡、諸手続き、チラシやポスターの制作、会場の草刈り等、運営にまつわるさまざまな役割を果たし、このイベントの裏方として活動しました。



## 外来植物除去活動

実施：河北潟地区外来植物対応方策検討会、河北潟の水辺を守り隊、グリーン・アース農地・水・環境保全組織  
協力：NPO法人河北潟湖沼研究所

河北潟周辺の水辺に繁茂する外来植物チクゴスズメノヒエの一斉除去活動です。2017年は11月に4日間、4か所で実施、のべ119名が参加しました。河北潟湖沼研究所は協力団体のひとつとして実施場所の選定、対象植物の調査や記録、活動当日の実施運営に協力しています。



## 他団体との連携

● 第8回田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト 地域交流会in河北潟

主催：NPO法人ラムサール・ネットワーク日本  
共催：NPO法人河北潟湖沼研究所

ラムサール・ネットワーク日本が立ち上げた「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」の地域交流会が、11月25日～26日に河北潟地域で開催、当研究所は共催として実施運営に取り組みました。

● グリーンピース・ジャパン 田んぼの生きもの調査

ネオニコチノイド系農薬の問題に早くから取り組む国際環境NGOグリーンピース・ジャパンの食と農業チームが河北潟地域に来訪、田んぼの生物多様性の現状調査を実施、当研究所はこの調査に協力しました。調査結果は動画にまとめられ、facebook等で発信されています。





# 助成金・寄付金等

## ■助成金を活用させていただきました

- 地球環境基金 3,000,000円  
活動名:河北潟の水辺保全活動をすすめるための流域がつながる仕組みづくり
- 未来につなぐふるさと基金 500,000円  
活動内容:七豊米、こなん水辺公園での写真教室

地球環境基金助成活動



尖道湖・中海視察

河北潟流域住民アンケート調査

地球環境基金助成活動では「流域」をメインに様々な活動を行い、河北潟流域の情報収集、流入河川を含めた流域住民へのアンケート調査の実施、島根県尖道湖・中海や鳥取県湖山池等類似湖沼のある地域への視察、セミナーやシンポジウム等を実施しました。

未来につなぐふるさと基金 写真教室



一眼レフカメラ講座

プリントされた写真

6/17に「田んぼと水辺の生きもの写真教室」を実施。キヤノンより一眼レフカメラが提供され、自然観察と共に、水辺の生きものや植物の撮影を体験、普段意識しない自然観察の視点を皆様に体感していただきました。

## ■ご寄付をいただきました

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 164,850円  
「eco保険証券・Web約款選択件数に応じた寄付活動」に基づく寄付金

ご支援・ご寄付ありがとうございました。



# 受託事業、地域連携事業

## こなん水辺公園解説員(金沢市委託事業)

金沢市こなん水辺公園に、3月から11月の土・日曜、河北潟湖沼研究所のメンバーを自然解説員として派遣、来園者に水辺の生きものや植物等を解説しています。来園者と共に園内をまわり、水辺の生きものや植物を観察、紹介しながら、水辺の面白さ、大切さを伝えています。



## グリーン・アース農地・水・環境保全組織連携事業

河北潟干拓地における水辺と農地の保全活動を連携して行っています。西部承水路緩傾斜護岸でのアサザ植栽実験、水辺体験イベント・ワークショップ、干拓地の生物調査、ヨシ原保全のためのヨシ刈り等を実施しました。

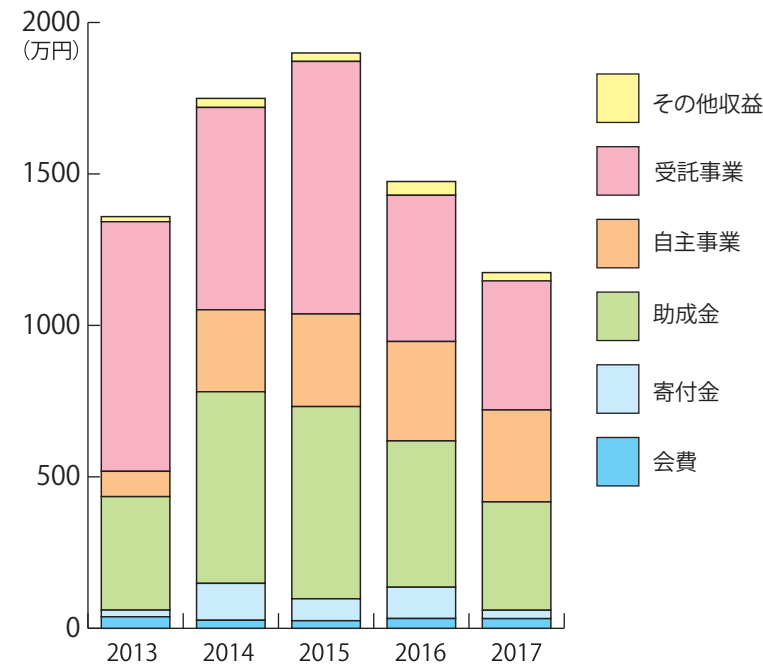


# 2017年度決算報告

| 貸借対照表      |            |
|------------|------------|
| 平成30年3月31日 |            |
| 項目         | 金額 (円)     |
| 資産の部       |            |
| 【流動資産】     |            |
| 現金及び預金     | 2,460,755  |
| 売掛金        | 1,630,720  |
| 未収補助金      | 1,518,000  |
| 商品         | 640,000    |
| 前払費用       | 168,900    |
| 流動資産合計     | 6,418,375  |
| 資産の部合計     | 6,418,375  |
| 負債の部       |            |
| 【流動負債】     |            |
| 未払費用       | 639,924    |
| 未払法人税等     | 71,000     |
| 未払消費税等     | 142,400    |
| 預り金        | 25,802     |
| 前受助成金      | 500,000    |
| 流動負債合計     | 1,379,126  |
| 負債の部合計     | 1,379,126  |
| 正味財産の部     |            |
| 【正味財産】     |            |
| 前期繰越正味財産   | 7,338,196  |
| 当期正味財産増減額  | -2,298,947 |
| 正味財産の部合計   | 5,039,249  |
| 負債及び正味財産合計 | 6,418,375  |

| 活動計算書                       |             |
|-----------------------------|-------------|
| 自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 |             |
| 科目                          | 金額 (円)      |
| 【経常収益】                      |             |
| 受取会費                        | 320,000     |
| 受取寄付金                       | 277,136     |
| 受取助成金等                      | 3,575,840   |
| 事業収益                        | 3,035,409   |
| 受託事業収入                      | 4,262,380   |
| その他収益                       | 273,089     |
| 経常収益合計                      | 11,743,854  |
| 【経常費用】                      |             |
| 事業費                         |             |
| 人件費                         | 6,859,592   |
| その他の費用                      |             |
| 売上原価                        | 1,340,641   |
| 租税公課                        | 143,800     |
| 減価償却費                       | 149,580     |
| 諸謝金                         | 355,908     |
| リース料                        | 1,050,848   |
| 印刷製本費                       | 405,707     |
| 外注・委託費                      | 401,508     |
| 支払手数料                       | 630,189     |
| 通信費                         | 5,450       |
| 旅費交通費                       | 1,485,363   |
| 消耗品費                        | 772,088     |
| その他                         | 71,127      |
| 管理費                         |             |
| その他の費用                      | 300,000     |
| 経常費用合計                      | 13,971,801  |
| 法人税・住民税及び事業税                | 71,000      |
| 当期正味財産増減額                   | Δ-2,298,947 |
| 前期繰越正味財産                    | 7,338,196   |
| 正味財産合計                      | 5,039,249   |

## 経常収益推移(2013～2017年度)



## 2017年度 経常収益割合

